



## 2025年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年3月14日

上場会社名 ベルグアース株式会社

上場取引所 東

コード番号 1383 URL <https://www.bergearth.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO兼COO (氏名) 山口 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 野本 幸代 TEL 0895-20-8231

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年10月期第1四半期の連結業績（2024年11月1日～2025年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第1四半期	763	3.2	△374	—	△373	—	△276	—
2024年10月期第1四半期	739	△20.1	△321	—	△315	—	△222	—

(注) 包括利益 2025年10月期第1四半期 △278百万円 (—%) 2024年10月期第1四半期 △224百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第1四半期	△172.84	—
2024年10月期第1四半期	△139.38	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期第1四半期	5,283	1,824	33.6
2024年10月期	5,677	2,120	36.4

(参考) 自己資本 2025年10月期第1四半期 1,775百万円 2024年10月期 2,066百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年10月期	—	—	—	—	—
2025年10月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	4.3	70	211.7	68	—	150	275.6	93.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年10月期 1 Q	1,610,500株	2024年10月期	1,610,500株
② 期末自己株式数	2025年10月期 1 Q	13,174株	2024年10月期	13,174株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年10月期 1 Q	1,597,325株	2024年10月期 1 Q	1,597,325株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成が当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記) .....	9
(四半期連結損益計算書に関する注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果に加え、インバウンド需要の増加などにより緩やかな回復が続くことが期待されております。その一方で、欧米における高い金利水準の継続や中国における市況停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなる可能性があり懸念されております。また、米国の政権交代による各種政策の転換が世界経済へ与える影響やロシア・ウクライナ情勢の長期化などの不確実性が存在しており、引き続き注視する必要があります。

当社グループの当第1四半期連結累計期間（11月～1月）の業績につきましては、主力製品である野菜苗の需要が全国的に減少する時期であるため、売上高が他の四半期と比較して少額となる傾向にあります。一方、コスト面では、減価償却費や間接部門の人件費等が各四半期に概ね均等に発生することに加え、燃料費等の冬季経費が発生するなど季節的な業績変動要因があります。

このような状況の中、当社グループは、「日本農業の為になる、役に立つ会社になることで、農業に革命を興し、人々の食と暮らしを豊かにする」という企業理念に基づき、2024年から2028年を計画期間とする中期経営計画を策定しております。10年後に次のステップへ飛躍的に成長できるベルグアースグループを目指し、4つの事業戦略「苗事業の更なる拡大と収益力強化」「苗事業を起点とした事業領域の拡大」「新製品・新技術の開発」「事業インフラ強化」を基本方針に定め取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は763,430千円と前年同四半期と比べ23,760千円（3.2%）の増収となりました。損益面につきましては、営業損失374,277千円（前年同四半期は営業損失321,032千円）、経常損失373,052千円（前年同四半期は経常損失315,384千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は276,095千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失222,638千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

#### (野菜苗・苗関連事業)

当事業部門におきましては、11月～1月の野菜苗需要が全国的に減少する中、適正価格への見直しを徐々に進めながら、自社農場及びパートナー農場の全国の生産拠点での生産体制及び配送体制を活かしたことによる営業推進に加え、高齢化や人手不足などにより栽培面積が縮小する一方で、生産者の世代交代により自家育苗から購入苗の切り替えが進んだことなどによりスイカ苗を中心に売上が増加いたしました。

損益面につきましては、コロナ禍からの経済回復に向けた経済対策の一環として、燃料油の卸売価格の高騰を抑制する措置として実施されていた政府補助金が、緩和措置期間を経て段階的に見直されてきたことに伴い、12月以降は生産で使用する重油等の燃料価格が値上がりしたことなどにより、燃料費や電力費用が増加いたしました。また、連結子会社のベルグ福島株式会社においては、3月に新設農場での生産開始を予定しており、それに伴う生産体制準備に向けた雇用増加や生産備品の購入増加などにより、製造経費及が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高571,539千円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント損失（営業損失）は246,408千円（前年同四半期はセグメント損失197,641千円）となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
トマト苗	133,451	98.6
キュウリ苗	148,102	100.6
ナス苗	16,546	85.5
スイカ苗	45,232	126.1
メロン苗	108,852	98.9
ピーマン類苗 (注1)	28,168	129.9
その他 (注2)	91,185	93.6
合計	571,539	100.8

(注1) ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

(注2) 玉ねぎ苗、葉菜苗、花苗等を含んでおります。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
ポット苗 (7.5cm~15cm) (注)	247,135	105.2
当社オリジナル (アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、高接ぎハイレグ苗、ウイルスガード苗、ツイン苗)	196,295	103.5
セル苗 (512穴~72穴) (注)	82,300	94.6
その他	45,808	82.7
合計	571,539	100.8

(注) ポット苗は、ポリエチレンのポット (ポリ鉢) で育苗した一般的な苗 (当社においては、主に断根接ぎ木苗にて育苗した苗) であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器 (セルトレー) で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北	52,987	108.6
関東	324,836	97.7
甲信越 (注)	23,112	85.3
中部・北陸	13,479	78.3
近畿・中国	43,248	95.1
四国	50,818	114.8
九州・沖縄	63,056	122.0
合計	571,539	100.8

(注) 静岡は「甲信越」に含めて表示しております。

(農業・園芸用タネ資材販売事業)

当事業部門におきましては、営業推進によりオリジナル培土や農薬などの売上が増加いたしました。損益面につきましては、販売強化に伴うカタログなどの販促費用の増加、仕入価格の値上げ等により利益率が減少したことなどにより営業損失となりました。

今後も、関連会社の株式会社むさしのタネのPB品種の種子やオリジナル肥料等のサンプルワークによる営業活動を進めるとともに、農業関連メーカーとの商品開発や肥料メーカー等協力企業との連携を深めることにより商品ラインナップの充実を図り、売上拡大に向けて取り組んでまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高169,779千円（前年同四半期比19.5%増）となりました。また、セグメント損失（営業損失）は3,864千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）2,829千円）となりました。

(小売事業)

当事業部門におきましては、11月～1月は売上が減少する時期ではありますが、園芸フェアやイベントの開催、希少価値の高いパンジー・ビオラなどの花苗の販売促進を行いながら、新たな商品、市場へ向けたマーケティング活動などに加え、愛媛県産品の柑橘などの販売や愛媛県内生産者への野菜苗や農業資材等の販売推進も行ってまいりました。しかしながら、コロナ禍からの園芸ブームの終息による客数が減少したことにより売上も減少いたしました。

今後も、消費者ニーズを捉えた商品の提案とマーケティング活動を行いながら、SNS等を利用したイベントや商品等の情報発信、店舗の集客力向上に繋がるイベントの開催などを積極的に行い、売上拡大と収益力の改善に向けて取り組んでまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高22,111千円（前年同四半期比27.7%減）、セグメント損失（営業損失）は5,340千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）5,397千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末と比べ393,775千円（6.9%）減少の5,283,745千円となりました。これは、受取手形及び売掛金の減少502,537千円、電子記録債権の減少291,637千円、棚卸資産の増加308,669千円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ97,708千円（2.8%）減少の3,459,478千円となりました。これは、支払手形及び買掛金の減少22,268千円、電子記録債務の減少73,957千円、長期借入金の減少69,116千円、短期借入金の増加200,000千円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べ296,066千円（14.0%）減少の1,824,267千円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、連結業績予想については2024年12月13日の開示時点から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	924,359	980,339
受取手形及び売掛金	1,109,045	606,507
電子記録債権	374,831	83,194
商品及び製品	88,262	123,932
仕掛品	75,710	274,862
原材料及び貯蔵品	190,253	264,099
その他	69,302	94,136
貸倒引当金	△10,065	△9,688
流動資産合計	2,821,698	2,417,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,535,901	1,507,765
機械及び装置(純額)	153,482	150,715
土地	721,007	721,007
その他(純額)	157,487	168,376
有形固定資産合計	2,567,879	2,547,865
無形固定資産	74,612	72,603
投資その他の資産	213,331	245,892
固定資産合計	2,855,822	2,866,360
資産合計	5,677,521	5,283,745

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	546,003	523,735
電子記録債務	90,658	16,701
短期借入金	※1 600,000	※1 800,000
1年内返済予定の長期借入金	316,739	294,469
未払金	217,972	243,060
未払法人税等	25,258	8,212
賞与引当金	67,680	33,818
その他	108,342	78,725
流動負債合計	1,972,654	1,998,721
固定負債		
長期借入金	1,238,325	1,169,209
退職給付に係る負債	15,601	16,081
資産除去債務	138,643	138,526
その他	191,962	136,940
固定負債合計	1,584,532	1,460,756
負債合計	3,557,187	3,459,478
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	724,476	724,476
資本剰余金	605,759	605,759
利益剰余金	762,857	470,659
自己株式	△32,726	△32,726
株主資本合計	2,060,366	1,768,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,381	7,704
その他の包括利益累計額合計	6,381	7,704
非支配株主持分	53,586	48,393
純資産合計	2,120,334	1,824,267
負債純資産合計	5,677,521	5,283,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
売上高	※ 739,670	※ 763,430
売上原価	704,083	766,743
売上総利益又は売上総損失(△)	35,586	△3,313
販売費及び一般管理費	356,619	370,964
営業損失(△)	△321,032	△374,277
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	174	275
受取手数料	646	1,373
補助金収入	1,100	2,400
貸倒引当金戻入額	1,571	—
その他	4,980	3,230
営業外収益合計	8,479	7,283
営業外費用		
持分法による投資損失	186	3,257
支払利息	2,115	2,630
その他	529	170
営業外費用合計	2,831	6,058
経常損失(△)	△315,384	△373,052
特別利益		
固定資産売却益	36	—
受取保険金	800	—
特別利益合計	836	—
特別損失		
固定資産除却損	447	670
リース解約損	150	—
特別損失合計	597	670
税金等調整前四半期純損失(△)	△315,145	△373,723
法人税、住民税及び事業税	2,721	2,721
法人税等調整額	△93,239	△95,155
法人税等合計	△90,518	△92,434
四半期純損失(△)	△224,627	△281,288
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,988	△5,193
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△222,638	△276,095

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
四半期純損失(△)	△224,627	△281,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△134	3,090
為替換算調整勘定	△95	—
その他の包括利益合計	△229	3,090
四半期包括利益	△224,857	△278,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△222,868	△273,004
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,988	△5,193

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行6行と当座貸越契約を締結しております。当第1四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入金の未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
当座貸越極度額の総額	900,000千円	900,000千円
借入実行残高	600,000千円	800,000千円
差引額	300,000千円	100,000千円

2 保証債務

関係会社の金融機関等からの借入金に対して、次のとおり債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
株式会社むさしのタネ	14,879千円	15,040千円
(注) 債務保証額から持分法適用に伴う負債として計上された金額を控除した金額を記載しております。		

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※ 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自2023年11月1日至2024年1月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自2024年11月1日至2025年1月31日)

当社グループの第1四半期連結累計期間の売上高は、主力製品である野菜苗の需要が全国的に減少するため、他の四半期連結会計期間の売上高と比べて著しく減少する傾向にあります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年11月1日 至2025年1月31日)
減価償却費	59,420千円	57,804千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	566,972	142,101	30,595	739,670	—	739,670
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	566,972	142,101	30,595	739,670	—	739,670
セグメント間の内部売 上高又は振替高	728	8,301	1,714	10,743	△10,743	—
計	567,700	150,403	32,310	750,413	△10,743	739,670
セグメント損失(△)	△197,641	△2,829	△5,397	△205,867	△115,164	△321,032

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△115,164千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じ る収益	571,539	169,779	22,111	763,430	—	763,430
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	571,539	169,779	22,111	763,430	—	763,430
セグメント間の内部売 上高又は振替高	560	2,558	1,419	4,538	△4,538	—
計	572,100	172,337	23,530	767,968	△4,538	763,430
セグメント損失(△)	△246,408	△3,864	△5,340	△255,613	△118,663	△374,277

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△118,663千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行)

当社は、2025年2月17日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行うことについて決議し、2025年3月4日に払込が完了いたしました。

1. 発行の目的及び理由

当社は、2025年1月30日開催の当社第24期定時株主総会において、当社の取締役（社外取締役を含む。以下、「対象取締役」という。）に企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的として、対象取締役に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」という。）を導入すること及び本制度に基づき、対象取締役に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として金銭報酬債権を支給すること等についてご承認をいただいております。

本制度においては、対象取締役に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額2,500万円以内（うち社外取締役は150万円以内）とし、対象取締役に対して各事業年度において割り当てる譲渡制限付株式の総数は8,000株（うち社外取締役は400株以内）を上限とすること及び譲渡制限付株式の譲渡制限期間を譲渡制限付株式の交付日から当社及び当社子会社の取締役、執行役員及び使用人のいずれの地位からも退任又は退職する日までの間とすることとしております。

2. 発行の概要

(1) 払込期日	2025年3月4日
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式 3,080株
(3) 発行価額	1株につき3,200円
(4) 発行総額	9,856,000円
(5) 資本組入額	1株につき1,600円
(6) 資本組入額の総額	4,928,000円
(7) 募集又は割当方法	第三者割当ての方法により、対象者に対して株式を割り当てる
(8) 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	当社の取締役4名1,200株 当社の執行役員7名700株 当社の使用人14名840株 当社の子会社取締役4名340株